



長谷観音



まつり!



7月17・18日に開催された
長谷観音まつりは今年で、
第40回を迎えました。
今後も活気ある地域の祭り
をよろしくお願いします!



西都市議会議員お揃いの
Tシャツを作成しました!

主な掲載内容

- ◎ 永年勤続表彰・・・P 2
- ◎ 議案審議結果・・・P 2
- ◎ 一般質問・・・P 3～6
- ◎ 委員会審査報告・・・P 7～8
- ◎ 陳情の審査結果・・・P 8

● 6月定例会の概要 ●

平成30年第3回定例会は6月11日に招集。6月28日までの会期で、市長提出議案12件、議員提出議案1件、報告案件2件、陳情1件について審査を行いました。

その結果、市長提出議案はいずれも原案可決（教育委員会委員の任命については同意、議員提出議案については原案否決としました。

また、陳情1件については継続審査としました。

全国市議会議長会

永年勤続表彰

このほど、狩野保夫議員が40年、井上久昭議員が20年の議員永年勤続の功労により、全国市議会議長会から表彰されました。



狩野 保夫 議員



井上 久昭 議員

昭和22年生 昭和53年初当選
現在11期目。この間、文教厚生
常任委員長、議会運営副委員長、
総務常任副委員長等を歴任。

昭和23年生 平成10年初当選
現在6期目。この間、議長、副
議長、議会運営委員長、文教厚
生常任委員長、産業建設常任委
員長等を歴任。

議案審議結果

第3回定例会（6月11日～6月28日）で審議された議案の概要と結果

- 全会一致で可決
- 賛成多数で可決
- ▲ 賛成少数で否決

条例関係

●第55号 西都市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の改正に伴い、所要の整備を行うものとするもの）

●第56号 西都市国民健康保険税条例の一部改正について（税率等の見直しに伴い、所要の整備を行うものとするもの）

●第57号 西都市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について（穂北小学校及び穂北中学校職員住宅の廃止に伴い、所要の整備を行うものとするもの）

予算関係

●第58号 平成30年度西都市一般会計予算補正（第2号）について（農

林水産業費、教育費など、総額2億12万9千円を増額補正しようとするもの）

●第59号 平成30年度西都市国民健康保険事業特別会計予算補正（第1号）について（平成30年度国民健康保険税の賦課額決定などに伴い、総額1億1026万2千円を減額補正しようとするもの）

■第60号 平成30年度西都市介護保険事業特別会計予算補正（第1号）について（保険料、繰入金を予算補正しようとするもの）

●第65号 平成30年度西都市一般会計予算補正（第3号）について（調殿地区農工団地内の道路整備に伴う測量設計業務委託料として、総務費に840万円を増額補正しようとするもの）

その他

●第54号 教育委員会委員の任命について 高橋 博昭 氏（新任）

●第61号 小型動力ポンプ付積載車購入に伴う売買契約の締結について（指名競争入札に付した小型動力ポンプ付積載車の購入について、売買契約を締結しようとするもの）

●第62号 一ツ瀬川営農飲雑用水広域水道企業団規約の変更について（高鍋町雲雀山地区における宮崎キヤノン株式会社工場建設に伴い、規約の一部を変更する必要があるため、関係地方公共団体と協議することについて議会の議決を求めるもの）

●第63号 平成29年度西都市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について（未処分利益剰余金の処分について、議会の議決を求めるもの）

●第64号 姉妹都市盟約の締結について（宜蘭縣羅東鎮「台湾」と友好と親善を深めるとともに、両市鎮の発展を念願し、姉妹都市の盟約を締結しようとするもの）

議員提出議案

▲第2号 防衛施設周辺放送受信事業の見直しの中止を求める意見書の提出について（防衛省が計画している防衛施設周辺放送受信事業の見直しについて中止を求めるため意見書を提出しようとするもの）

次のページから

一般質問

6月18日19日20日、8名の議員が登壇し、市政全般にわたって質問を行いました。

市街地活性化、ふるさと納税、自治公民館、新病院について



新緑会
橋口登志郎

問① 市街地の中心、あいそめ広場の整備及び広場の舗装を痛める植栽の根について伺いたい。

答 噴水を撤去して、汎用性が高く、様々なイベントに対応できる広場へとなるよう協議する。また通行に支障を来す根は改修する。

問② 日本遺産に関し伺いたい。

答 世界遺産は文化財を保護することが目的だが、日本遺産は文化財を観光振興に活用し、地域活性化に繋げることが目的である。

問③ インバウンド対策の具体的な方策について伺いたい。

答 市内入口や西都原ガイドンスセンターに多言語対応の説明用看板の設置を予定、また協議会のHPや、動画サイト、SNS等で映像や写真など情報発信したい。

問④ 自転車交通の「ナショナルサイクルルート」計画についてと、自転車レーン計画を伺いたい。

答 ナショナルサイクルルートについて調査研究をすすめたい。ま

た自転車レーンについては「西都市自転車等安全利用促進計画」に基づき、観光資源間を回遊するような路線を選定したい。

問⑤ ふるさと納税の国からの指導と、取り組みについて伺いたい。

答 自治体間競争が過熱し納税の趣旨に反する返礼品が見受けられるので良識ある対応をするようにと通知があった。その上で納税増額に向けて取り組んでいきたい。

問⑥ 公民館活動への積極的な参加を促す施策について伺いたい。

答 公民館の加入メリットや促進対策は各課と協議し、先進地の事例等を研究し紹介していきたい。

問⑦ 西都児湯医療センターの新病院は西都市民の最大の関心事であるが、その進捗状況を伺いたい。

答 現在、施設整備基本計画の策定中であり、可能な限り早期策定に努力したい。

問⑧ 常勤の先生方が新病院建設においてもっとも重要であると考えるので、先生方の医療技術、熱意や健康講座等のアピール広報をお願いしたい。

答 広報さいとにおいて医療センタ―記事を掲載して、さらに周知に努めていきたい。また講座は多くの市民に参加頂けるような開催方法を検討していきたい。

議会の在り方、有害鳥獣対策、庁舎建設、空き家対策について



創生会
荒川 昭英

問① 議員定数を含めた議会の在り方について、議論を深める必要があると思うが考えを伺いたい。

答 本市の地域課題の解消に向けて、議会がその役割を果たすための議会運営の在り方や議員に求められる役割などについて議論が深められるものと考えている。

問② 農地保全の観点から、鳥獣被害が及ぶことの影響について農業委員会の会長の考えを伺いたい。

答 鳥獣被害は営農意欲の低下や耕作放棄地の増加の要因となっており、住民の生活や農業集落の維持・運営に多大な影響を及ぼしていると考えている。

問③ 鳥獣被害を受けている地域住民の意見を聞くことも大切と考える。意見を踏まえ市負担による捕獲組織体制の強化を図り、ワナを含めた捕獲の研究をした上で地域に応じた有害鳥獣対策を行うことについて市長の考えを伺いたい。

答 どの様な捕獲組織がつけられる

のか猟友会と協議を行うことや地域の方と意見交換を行い、その地域にとって最善の捕獲方法を検証し、支援して参りたい。

問④ 平成33年度完成予定の新庁舎建設計画の進捗状況を伺いたい。

答 現在基本設計の中で、建物配置や形状等の検討を行っている。

問⑤ 計画建物の構造、階数、延べ床面積について伺いたい。

答 鉄筋コンクリート造4階建て、延べ床面積7100平方メートルを基本として計画している。

問⑥ 計画に当たって、早い段階でより詳細な事業費の計画を立てることが必要と考える。また委託業者等に対し、全てを委ねることなく、的確な指示や精査機能を發揮して事業費の軽減に努められることを提言しておきたい。そこで、概算事業費は50億円と試算されているが、財源について交付税措置と併せて伺いたい。

答 財源は40億円を起債で賄い、10億円を基金で対応したい。交付税は約11億円を見込んでいます。

問⑦ 空き家対策の条例の整備予定と老朽化した空き家の解消に向けての考えを伺いたい。

答 平成30年度に条例の整備を行い、条例に副った空き家の解消対策を図って参りたい。

商店街活性化・奨学金制度・西都
市総合防災訓練について



信の会
山地 将生

問① 行政面からみた商店街存続の課題について市長の考えを伺いたい。

答 先ずは本市の産業基盤を維持確保する為の後継者対策、その上で産業振興対策としての商店街の賑わい創出、各個店の魅力創出を解決すべき課題であると考えてる。

問② 商店街空き店舗推進対策事業の実績状況について伺いたい。

答 平成21年度からこれまでに28件の事業者が活用している。利用後から現在も事業継続中が17件、補助事業実施中が7件である。

問③ 子供たちへの教育支援の現状について教育長に伺いたい。

答 要保護及び準要保護児童生徒の保護者に対して就学援助費の支給を行いまた、市独自で奨学資金貸付事業制度を設け、経済的理由により就学が困難である大学等への進学者に対し、無利子で学資を貸し付ける取り組みを行っている。

問④ 子供たちが、自身の可能性

に向かっていける様、「本市独自の給付型奨学金制度」の創設を提言したい。

答 本年度から毎月の貸付額の増額及び大学等への入学準備資金の貸付を創設した。更に今年度、大学等卒業後に本市に住み、西都へ貢献して頂ける方に対して、償還額と同等の補助金を毎年度末に支給制度を創設した。まずは本制度にてご理解頂きたい。

問⑤ 本市総合防災訓練の意義について市長の考えを伺いたい。

答 地域防災力を構成する、自助、共助、公助を総合的に強化し、地域での協力・連携体制を作り、防災減災を図ることにあると考える。

問⑥ 今回の訓練結果を踏まえての課題をどのように考えているのか伺いたい。

答 一般市民の来場が少なかった事から市民が参加しやすい訓練やイベント要素を加える等して関係機関と協議検討していきたい。

問⑦ 各組織が集うこの機会に、それぞれの長所短所を確認しあい、総合的対策手段が構築できる様、「ストーリー性を持たせた合同型の訓練形式」を提言したい。

答 過去の災害時の検証と先進的な訓練方法などの検討を行い、提言に沿えるようにしていきたい。

集落を維持し、安心して暮らせる
新たな取り組みについて



創生会
米良 弥

問① 西都市における人口減少社会に対する市長の基本的認識と独自政策について伺いたい。

答 首都圏人口集中の流れの中で地方にとっては厳しい状況が続いている。このため、新たに「地域再生計画」を策定し、若い世代に魅力を感じていただく施策に取り組みたい。

問② 新しい西都児湯医療センターは、市長としてはいつまでに整備されるつもりか伺いたい。

答 新病院建設は喫緊の課題であり、可能な限りの早期実現に向け最大限の努力をする。

問③ 子育て環境整備のため、新病院において、産婦人科・小児科の標榜はできないか伺いたい。

答 新病院での標榜科設定はそれらの科も含め、地域のニーズや有識者等による意見等を踏まえ検討していく。

問④ 高齢者の増加に伴い、今後在宅医療・福祉をどのように推進

していられるのか伺いたい。

答 本年度より「地域包括ケア推進係」を設置し、在宅医療・介護サービス事業者等の連携の支援や高齢者等の不安解消に積極的に取り組んでいく。

問⑤ 中山間地域等の交通弱者対策に今後どのように取り組まれるか伺いたい。

答 既存の交通体制を中心に取り組むとともに、地域のニーズに対応できるようデマンド型の運行方式や山間部の移動手段確保等の検討を始める。

問⑥ 集落を維持するため、集落道等の生活基盤の維持管理にどのように対応するのか伺いたい。

答 市道に関しては市が責任を持つて対応していく。その他の生活基盤についてはできるだけ集落等で対応していただけるような支援措置を検討したい。

問⑦ 若者定住促進、新産業育成のため光通信網の整備が急務となっているが、対応について伺いたい。

答 市内全域の整備には8億3千万円ほどの市の負担が見込まれることから、整備エリアの特定、負担金拠出の在り方等について鋭意協議中であり、何とか実現する方法を検討していく。

観光ビジョンとビジネスホテル誘致について



新緑会
井上 司

問① 日本遺産をどのように観光ビジョンに取り入れるのか。また、ビジネスホテルの誘致は考えているのか。

答 日本遺産認定後に2市1町を構成団体として発足した「日本遺産南国宮崎の古墳景観活用協議会」における協議結果を踏まえながら、日本遺産としての魅力を更に磨き上げ、更なる観光振興の推進に努めたい。ビジネスホテルの誘致については、既存ホテルの稼働率等の推移を注視しながら、関係機関等と協議を進めてまいりたい。

問② 81号前方後円墳の観光としての活用は。

答 今回の日本遺産認定に伴い、国の文化芸術振興費補助金を活用した事業を実施し、その中で81号前方後円墳等の古墳を観光資源として活用できないか検討したい。

問③ 古代花火大会など設ける考えは。

答 花火大会については、今年が市制施行60周年であり、日本遺産の認定を受けた記念の年であり、実施に向け検討したい。

問④ 視覚障害者にむけてさいと広報「おしらせ」に点字の活用はできないか。

答 点字を印刷するとなると紙も厚紙になり、活字と点字を同時に印刷する事も難しいと考えられる。文字を読み取り音声化する装置もあり、そちらの利用を促進したい。また福祉事務所において視覚障害者の手帳交付時に音読サービスについてご案内する事も可能であり、ボランティア団体「ひかり」にお伝えし、利用普及に努めていきたい。

問⑤ 自治公民館にエアコンの設置助成はあるのか。

答 西都市自治公民館連絡協議会加入の自治公民館整備費補助金の申請制度がある。補助額は50万円を限度として補助対象経費の3分の2以内となっている。事業費が25万円以上が条件である。

問⑥ 一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業とは。

答 住民福祉の向上に寄与する事を目的に実施している事業で自治公民館や地域づくり協議会の備品の購入で宝くじ事業である。

保育所再編とトレーニングハウスのについて



新緑会
北岡 四郎

問① 保育所再編について、現在における進捗状況を伺いたい。

答 庁議を開催し協議を行ったが結論には至っていない。

問② 5か所ある公立保育所の4月1日現在の入所児童数について伺いたい。

答 杉安保育所9名、都於郡保育所20名、山田保育所5名、三財保育所18名、上三財保育所7名である。

問③ 公立保育所の職員の人数を伺いたい。

答 杉安保育所7名、都於郡保育所6名、山田保育所5名、三財保育所7名、上三財保育所6名である。

問④ 児童数59名、職員数31名（正職23名臨時職8名）である。2児童数に対して職員数1の割合になる。法人保育所（民営保育園）9か所で児童数454名、認定こども園8か所で611名である。今後児童数が増えるのか、年間生

まれる赤ちゃんは200人台を前後しながら減っている状況で偏在でもある。行財政改革及び効率性からいっても5保育所を一つに統合するべきだと思う。公の保育所の役割として「発達障がい児童を含めた障がいのある児童数が増えてきている。総合的な精査が必要となってきた」と記されている「健全児童も含めた保育所があっても良いと思うが市長の考えを伺いたい。

答 議員の意見も参考に、できるだけ早い時期に市の方針ができるよう検討したい。

問⑤ トレーニングハウスで研修した後は、ハウスが必要になる。その為に、空きハウスや賃貸ハウスを活用する方法として登録制度はできないか伺いたい。

答 JA・農業委員会・農政課が把握している情報を共有できる仕組みができないか協議していきたい。

問⑥ 農作業の効率性を考えるとハウスを集約しハウス団地化をする必要がある。市長の考えを伺いたい。

答 ハウス団地化のメリット及び課題は認識している。現在関係機関、関係団体に相談し情報収集を行っている。



新緑会
岩切 一夫

問① 施設園芸用ハウスの老朽化対策はどう図られるのか。

答 中古ハウスもしくはハウスの改修により延命化を行う農業者に対し、ハウスの導入については補助対象経費の5分の1か100平米あたり2万円を乗じて得た額のいずれか低い額とし100万円を限度、ハウスの補強については、補助対象経費の4分の1とし20万円を限度としている。

問② 新規ハウスに対して国は対応しているのに、なぜ西都市は支援の対応ができないのか。

答 今ある国庫事業を積極的に活用していただき、市としては現在の老朽化対策を推進していく。

問③ 日本遺産の認定がグリーン・ツーリズムに与える影響について伺いたい。

答 インバウンド対策を含めた各種事業を実施していく。この事業で製作した新たな観光資源をグリーン・ツーリズムの利用者が体験

したり、「日本遺産のエリアで農家民泊をしよう」といったPRの可能性が広がる等、グリーン・ツーリズムの展開にはプラスの影響を与えるものと思われる。

問④ 旧黒生野保育所跡地を利用予定している特定非営利活動法人ふあむ・ふあーむはどのような事業所なのか。

答 事業内容は、日常生活を送るのに必要な基本動作や知識などを習得し、集団生活や社会生活に適応できるように支援する「児童発達支援事業」や「放課後等デイサービス事業」や養育者の負担軽減を目的としている「日中一時支援事業」を主に行っている。

問⑤ 食の拠点「道の駅」で購入した土地は、今後どうするのか。

答 これまで計5回の検討委員会を開催したが、有効的に活用できる方向性が定まらない。



ふあむ・ふあーむが利用する
旧黒生野保育所



日本共産党
狩野 保夫

問① 国立社会保障・人口問題研究所が発表した2045年度までの西都市の将来推計人口は1万7797人になると推計している。このことに対する見解を伺いたい。

答 今回発表された数値は大変深刻な状況であると認識している。若い世代が西都市に魅力を感じ、定住人口増加につながる施策を考えたい。

問② 昨年、防衛省が「防音工事が完了又は一部完了済みの世帯等のNHK受信料補助を廃止を含めて見直す」ことを公表したことに對する見解を伺いたい。

答 九州防衛局に「とうてい受け入れられない」との申し入れを行っている。

問③ 私が行った「市政アンケート」では24時間救急医療の実現を望まれるご意見が93%もあった。救急医療の実現と新病院建設は最も重要な課題である。実現に向けた決意を伺いたい。

答 24時間体制の一次救急医療の実現と新病院建設の課題は最大の努力をする覚悟である。

問④ 子どもの成長を喜びあえる、だれもが安心して子育てできる社会をつくることは政治の責任である。子ども医療費助成を高校生までの拡充と小中学校の給食費の半額補助について見解を伺いたい。

答 子育て支援対策として大変有効な施策の1つであると理解しているが、まずは、未就学児の医療費無料化に取り組みたい。

問⑤ 性的少数者(LGBT)に対する認識と今後の取組みについて見解を伺いたい。

答 「LGBT」と呼ばれる人々は13人に1人の割合でいるとの調査結果もある。職員や市民に理解をしていただくために啓発活動を推進したい。

問⑥ 市制60周年記念事業として都於郡城跡ガイダンスセンター建設、オリジナルの婚姻届やバイクのナンバープレートをつくられることについて見解を伺いたい。

答 ガイダンスセンターについては西都市市制60周年記念事業推進委員会に相談したい。オリジナルの婚姻届については付加価値の高いものを考案している。ナンバープレートについては検討したい。

議案等の審査

総務常任委員会

今期定例会において、総務常任委員会に付託されました議案4件について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

まず、議案第58号 平成30年度西都市一般会計予算補正（第2号）について本委員会に付託をされた部分についてであります。

歳入について主なものは、県支出金として1億5274万9千円、諸収入として、4221万2千円の増額予算が計上されております。

歳出について主なものは、議会費と総務費に宜蘭縣（いらんけん）羅東鎮（らとうちん）との姉妹都市盟約に関する予算などが計上されております。

次に、議案第61号 小型動力ポンプ付積載車購入に伴う売買契約の締結についてであります。

本案は、指名競争入札に付した

小型動力ポンプ付積載車の購入について、売買契約を締結しようとするものであります。

次に、議案第64号 姉妹都市盟約の締結についてであります。

本案は、台湾の宜蘭縣羅東鎮と友好と親善を深めるとともに、両市鎮の発展を念願し、姉妹都市の盟約を締結しようとするものであります。

次に議案第65号 平成30年度西都市一般会計予算補正（第3号）について本委員会に付託をされた部分についてであります。

本案は、歳入に地方交付税840万円の増額予算が計上されております。

これらの議案4件については、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

文教厚生常任委員会

今期定例会において、文教厚生常任委員会に付託を受けました議案6件について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

まず、議案第55号については、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第56号については、賛成討論がなされ、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

なお、審査の過程において、ある委員より「平成30年度の課税から、『所得割額』『資産割額』『被保険者均等割額』『世帯別平等割額』の4方式から、資産割額を削除し、3方式に変更されたことについて、承知されていない市民の方がおられることを考慮し、今後也十分な説明責任を果たされることを強く要望しておきたい」との意見・要望がなされました。

次に議案第57号については、現地調査を行い、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。なお、審査の過程において、ある委員より「穂北小学校及び穂北中学校職員住宅の解体に当たっては、財産の有効活用を図る立場から、地元住民のみなさんに意見を求められることを要望したい」との意見・要望がなされました。

次に、議案第58号について、本委員会に付託された部分についてであります。本案については、賛成討論がなされ、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第59号については、賛成討論がなされ、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第60号については、種々質疑の後、「本案については、介護保険制度を誰もが安心して利用できる制度に、そして介護を必要とする人も支える人も、ともに

暮らしを支える制度を求める立場から賛成できない」との反対討論がなされましたが、採決の結果、多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。



穂北小中学校職員住宅
現地調査の様子

産業建設常任委員会

今期定例会において、産業建設常任委員会に付託されました議案4件について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

まず、議案第58号 平成30年度西都市一般会計予算補正（第2号）について、本委員会に付託された部分についてであります。

歳出として主なものでは、農林水産業費のうち農業費に、地域の営農戦略として定めた「産地パワーアップ計画」に基づき、意欲のある農業者等が高収益な作物・栽培体系への転換を図るための取り組みを総合的に支援する産地パワーアップ事業費補助金が計上されています。

次に、議案第62号 一ツ瀬川営農飲雑用水広域水道企業団規約の変更についてであります。

本案は、高鍋町雲雀山地区における宮崎キヤノン株式会社工場建設に伴い、規約の一部を変更する必要が生じたため、関係地方公共団体と協議することについて、議会の議決を求めようとするものであります。

次に、議案第63号 平成29年度西都市水道事業会計未処分利益剰余金の処分についてであります。

本案は、未処分利益剰余金の処分について、議会の議決を求めようとするものであります。

次に、議案第65号 平成30年度西都市一般会計予算補正（第3号）について、本委員会に付託された部分についてであります。

歳出として、妻湯温泉の来年3月の事業開始に備え、温泉施設周辺の通過交通量の軽減及び交通安全性の向上を図り、近隣住民との良好な関係性の構築と施設への円滑なアクセス経路を確保するために、同施設が立地する調殿地区農工団地内の道路整備に伴う測量設計業務委託料が計上されています。

これらの議案4件については、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

陳情 審査結果

介護保険での「生活援助利用の上限設定」の中止・撤回を求める意見書を国に提出することを求める陳情

陳情者

宮崎県社会保障推進協議会
会長 山田 秀一

審査結果

継続審査

◆編集後記◆

今回の一般質問は新人2名を含む8名が登壇した。新人議員の緊張しながらの初質問という事も手伝い新鮮味のある議会となった。

質問内容は常々の課題である自治組織、農林業振興、有害鳥獣対策、商工観光の問題から旬の日本遺産、更には本市最大の関心事項である新庁舎建設や新病院建設問題などバラエティに富んだものとなった。その中には防災関連の質問も見られた。

最後に、今回発生した「大阪北部地震」及び「西日本豪雨」の被災者の方々へ改めて、お悔やみとお見舞いを申し上げたい。

― 議会報編集委員会 ―

委員長	荒川 敏満
副委員長	山地 将生
委員	濱 砂 磐
〃	曾我部 貴博
〃	岩 切 一 夫
〃	兼 松 道 男
〃	狩 野 保 夫